

協会ニュース



50周年記念事業 記念講演会

テーマ；会津地域における障害者福祉を考えるー今まで、そして、これから

9：30～開会

令和6年8月3日（土）たけだホールにて

9：35～法人の50年の歩み（理事長報告）

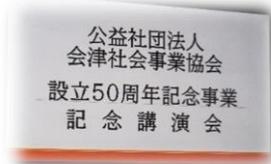
主に設立当時の当事者の方々が置かれていた状況やSWの取り組み、そしてGHが法制化されるまでの状況について報告していただきました。

10：00～記念講演会

テーマ「次世代につなぐ地域作り」

講師 社会福祉法人蒼溪会理事長 有野哲章様
埼玉県精神保健福祉センター、精神医療センター、保健所に13年勤務
平成27年 社会福祉法人蒼溪会へ転職、平成30年 同法人 理事長

内容 「新しい地域作り」について、社会のパラダイム変革期、自律分散型組織の必要性、フラクタル構造などの視点で、「自然な地域とは何か」については、人間関係の必要性、共助公助の不足などの視点で、「自然な組織とは何か」については、組織の発達理論、自律的な組織のための3つの前提を整える、DXO（ディクソー）などの視点で、そして、「人材（財・罪）育成」については、プレイフル・ファーム～循環とは①②～ 価値観の変容 人類共通の喜びという視点でご講演いただきました。



11：10～シンポジウム

テーマ「これからの会津地域の障がい者福祉を考える
ー障害福祉サービス事業所に期待することー」

（医療）竹田総合病院 副院長 小園江浩一様
昔に比べれば充実してきたし、多くの方々に頑張ってもらっているが、介護保険に比べるとまだまだ足りない。特に重複障がい（身障等）のケースなどに対する支援は、様々な条件整備が必要だろうが、課題が多い。

（行政）会津若松市役所健康福祉部障がい者支援課 副主幹 渡部芳博様
会津若松市の現状、障害者計画、相談支援体制、社会資源の状況などの報告。会津若松市も人口減少だが、会津の中核として周辺市町村と課題の共有や協力が必要。事業所も増え質が問われてきていることを自覚していただきたい。

（相談）会津若松市障がい者総合相談窓口 主任相談支援専門員 浅沼 宏泰様
どこでも人材確保が難しいので、効率や質の向上で対応せねばならない。さらに支援機能の拡大のための研修なども必要。1つの事業所が抱えこんでしまうことのないよう協力体制、面的整備、支え合う体制にしたい。

12：10～質疑応答・意見交換

我々の所属する組織の機能やこれからの在り方について、また人材育成について、農業や当事者活動からの学びなどを、参加者、そしてシンポジストの方々と意見交換しました。

12：25 閉会

会員の皆様を始め、地域の方々から60数名の参加をいただき、盛会裏に終えることができました。皆様からありがたい励ましのお言葉などをいただきました。その一部をご紹介します。

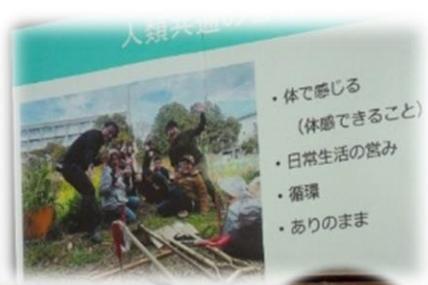


<当協会に対して>

- 会員として、地域の福祉従事者として、協会の歴史を聞くことで多くのことを学ぶことができよかった。大変貴重な機会だったと思う。
- 協会活動はソーシャルワークの原点の活動だと思う。
- 今の協会の事業は、今までの地域での人と人とのつながりを大切にする取り組みによって得られた成果である。
- 今まで大切にしてきたことをこれからも次の世代につないでいく必要がある。自分にもその役割があると感じた。
- 会津の福祉の歴史そのものだと思う。これからもこの地域を引っ張っていただきたい。

<記念講演・シンポジウムに対して>

- 今まで接することのできなかつた地域づくりなどの専門的な話を聞いて良かった。
- 答えのないことに漂い、向かい合っていく必要性和覚悟を持つことができた。
- 地域、組織のために自分は何ができるか、改めて考え、追求していきたい。
- 支援者としてジレンマに対峙することの必要性を感じた。
- 対象者の幸せを考えると、まず自分が幸せであることが必要だと思った。
- 枠にとらわれないことの大切さ、今までの自分を振り返って考え直すきっかけになった。
- 人のつながりを大切にするのが地域づくりにつながると思った。
- 地域のそれぞれの役割を担う方々と、将来を語り合う機会が持てたことは意義深いことだ。



自己紹介

職種
精神保健福祉士・相談支援専門員

職歴
埼玉県に13年勤務していました。
精神保健福祉センター、精神医療センター、保健所
平成27年 社会福祉法人蒼溪会へ転職
平成30年 同法人 理事長

関心があるもの
手放すラボ研究員 ティール組織・自律分散型組織 DXO
ソース原理・マネーワーク Jyunnkann-Daikonn
NVC (非暴力コミュニケーション) HTML
ホワイトボード・ミーティング® 認定講師
MBTI認定ユーザー

蒼溪会ORユーザ

N.ARINO (SOUKEIKAN)



最近の活動より

9月6日、ジョイ3にて、かき氷の会開催される

9月に入り、言葉は残暑でも実際日中の屋外は炎天下。
ということで皆さんの期待にお答えして… かき氷の会を
開催しました。今回は、久しぶりの参加の方もおられ、
冷たいかき氷に満足しておられたようでした。



スイカの赤がちょっぴり
アクセント 🍉 スイカ?!



8月29日 ジョイ2にて ランチの会開催される

ジョイ2 恒例ランチの会が開催されました。
場所は、トミーとマツ。おなじみのお店で
お腹いっぱい、

胸いっぱい。

お替わり下さい。
もう一杯 ♪~♪



ひとこま ー地域とのつながりについてー

Ｙさんは床屋に行きたくても気分の波があり直ぐに気持ちが変わってしまいます。Ｙさんの調子に合わせて床屋の促しをしていますが、なかなか行けない日が続きました。



そんなある日、床屋さんが職員に声をかけてくれたので、「Ｙさんが床屋に行きたいけどなかなか行けない」ことを伝えてみました。すると床屋さんからありがたい一言を頂きました。

『Ｙ君を見かけたらこっちからも声かけてみるよ。お代はいつでも大丈夫、Ｙ君だからいいよ。』

Ｙさんと床屋さんは約 10 年の付き合いです。床屋さんはすぐ近所にあり、床屋に行かない時でもＹさんのことを気にかけてくれる存在です。「店の前でしゃがんでいたからグループホームに送っていった。」ということもありました。今回もグループホームに来て直接声掛けもしてくれました。そのおかげで半年ぶりに床屋に行くことができました。

今回のひとこまを通して、地域の方が協力して下さることはとても心強いですし、グループホームに住んでいる方たちを、地域の一員として認めてもらえているということがわかり嬉しかったです。時には厳しい言葉を頂くこともありますが、今回の嬉しい気持ちを忘れないように、今後も支援していきたいと思えた出来事でした。

編集後記

いろいろとトラブルがあり、ニュース発行が遅れてしまったこと、お詫び申し上げます。

50周年記念講演会は無事に終わることができました。

皆様、本当にありがとうございました。現在、もう一つの記念事業として記念誌の作成中です。30周年以降のあゆみをまとめており、もう少し時間がかかりますが、完成しましたら、皆様のお手元にお送りいたしますので楽しみにお待ちください。

新しい時代に向けての一步をあゆみ始めた協会をこれからもよろしく願いたします。

(事務局)

砂漠のバラ

